

I 「共助の層」を厚くする取組

(1) 身近な地域での「つながり・支え合い活動」の推進

①総合相談

地域の方の多種多様な相談を関係機関へつなぐなどにより、解決を図った。

②地域食堂実施団体への支援

こども食堂やみんなの食堂を実施している団体の活動を支援した。

- ・保土ケ谷ロータリークラブからの申し出を受け、寄付の配分、贈呈式を実施

実施日：6月7日（水）

場所：保土ケ谷区福祉保健活動拠点 多目的研修室 参加団体数：12 団体

- ・みんなde食堂懇談会の開催

開催日：9月6日（水）

場所：保土ケ谷区福祉保健活動拠点 多目的研修室 参加者数：14 名

- ・食堂を新たに立ち上げる団体への支援
- ・広報紙社協ほどがやで「みんなde食堂」紹介記事掲載
- ・タウンニュースを介してHP レアリアへの食堂紹介ページ作製の協力
- ・区内企業等の協力により提供された食材や物品の配分

③ヤングケアラー・ひきこもりの方への支援

地域住民の声を受け、ヤングケアラーに関して検討する会議を設け、勉強会を実施した。

- ・ヤングケアラーに関する勉強会

実施日：11月24日（金） 場所：保土ケ谷公会堂1号会議室 参加者数：45名

- ・区社協職員対象 ひきこもり研修の位置づけで映画「カンパニユラの夢」を視聴

(2) 生活支援体制整備事業の推進

地域包括ケアシステムの構築に向け、区役所や地域ケアプラザと共に、高齢者になってもいつまでも住み慣れた地域で、生きがいや役割を持って自分らしく暮らし続けられるよう、地域、NPO、社会福祉法人、民間企業等の多様な主体との連携・協力による地域づくりを目指しました。

①区域のアセスメントおよび課題解決に向けた取組

- ・生活支援体制整備事務局会議（12回）、その他区との打合せ（適宜）
- ・横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業(サービスB)活動団体へ区・地域ケアプラザと連携支援
- ・民間企業との見守り連携について、区域での検討・協議
- ・地域の買い物困難エリアにおける移動販売実施に向けた検討および企業との協働の取組
- ・事業啓発に向けた広報啓発の取組

②2層生活支援コーディネーターとの連携および支援

- ・保土ケ谷区生活支援コーディネーター連絡会の開催

連絡会を開催し、区域での連携した地域づくりに向けた取組や情報交換等を行いました。

開催回数：全 12 回/毎月 1 回（別掲）

参加者：第 2 層生活支援コーディネーター（地域ケアプラザ）、第 1 層生活支援コーディネーター（区社協）、区包括ケア推進担当係長、区社協体制整備事業担当職員、区役所体制整備事業担当職員

主な内容：保土ヶ谷区アクションプランの取組状況振り返り、体制整備事業の普及啓発について、民間企業との見守り連携に向けた検討、民間企業との意見交換会（パスシステム、保土ヶ谷郵便局）、移動販売を通じた地域づくりについて、Ayamu 公開に向けた検討・準備、市推進会議等報告、その他情報共有など

- ・第 2 層生活支援コーディネーターヒアリング、個別相談対応
- ・第 2 層協議体への出席

③市・区域の各種会議への出席

- ・市生活支援体制整備推進会議（年 10 回）
- ・第 1 層コーディネーター連絡会・情報交換会（年 9 回）
- ・保土ヶ谷区地域包括支援センター全体会、多職種連携代表者会 他

(3) 地域ケアプラザとの連携

地域ケアプラザと連携し、小地域支援を行った。

①地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーター連絡会

- ・毎月第 2 水曜日（計 12 回）
- ・情報交換、地域交流研究部会の連絡調整、各ケアプラザの地域交流事業の報告
- ・コーディネーター連絡会事業（区民まつり・障害児余暇支援事業・学生と地域の交流事業）の検討・調整

②地域交流コーディネータースキルアップ研修

- ・ファシリテーション研修（12 月 13 日（水））
- ・聴覚障害者理解「横浜市聾特別支援学校見学及び意見交換」（2 月 14 日（水））
- ・福祉避難所研修（3 月 13 日（水））保土ヶ谷区福祉避難所連絡会を兼ねる。
- ・障害児余暇支援事業「ほっとフレンズ」の開催（7 月 30 日（日）・3 月 24 日（日））
- ・学生と地域の交流事業「ポッチャとお菓子」千丸台団地（2 月 24 日（土））
- ・港南区地域交流コーディネーター連絡会との交流会（1 月 22 日（月））
- ・区民まつりに参加（10 月 28 日（土））
- ・地域交流研究部会への参加（年 1 2 回）
- ・保土ヶ谷区地域自立支援協議会への参加（子ども部会）
- ・保土ヶ谷区移動情報センター推進会議への参加（年 3 回）
- ・子育て支援連絡会全体会事務「支援者向け研修・全体研修・事務局会議（年 3 回）」

④地域ケアプラザ生活支援コーディネーター連絡会（計 12 回）上記掲載

⑤包括支援センターとの連携

- ・各地域ケアプラザ包括支援センターミーティングへの出席

・個別ケース地域ケア会議、包括支援センターエリア地域ケア会議への出席

(4) 地区社協活動の推進支援

①地区社会福祉協議会活動への助成

地区社会福祉協議会活動の充実に向け、安定した財源確保のために助成金を交付した。

(ア) 地区社協活動運営費（市社協補助金を活用）

50,000 円×22 地区 計 1,100,000 円

(イ) 地区社協助成金

230,000 円×22 地区 計 5,060,000 円

(ウ) 世帯賛助会費の地区社協への還元金（詳細は P24(別表 1)）

各自治会町内会に協力依頼し、寄せられた賛助会費の約 60%分を、地域福祉推進の取組を進める各地区社会福祉協議会に還元した。

地区社協への還元金総額：7,137,000 円（世帯賛助会費実績総額：11,878,557 円）

②地区社協運営・事業支援

地区社協が地域の様々な活動団体の協議体としての役割を発揮し地域福祉活動を推進できるよう、地区社協の組織運営や活動の支援、研修等を行った。

③地区社会福祉協議会分科会（会長・事務局長合同会議）

地区社協間の情報交換や活動充実に向けたテーマでの検討等を行った。

(5) 保土ケ谷区地域福祉保健計画（ほっとなまちづくり）の推進

①地区別計画の推進支援

区役所、地域ケアプラザと地区支援チームを構成し、連携し地区支援を行った。

- ・各地区での地区別計画推進支援（実行委員会への参加等）
- ・各地区支援チームへの参加
- ・地区支援チームリーダー会議 4月28日（金）、7月27日（木）、10月6日（金）
- ・新任地区支援チーム職員説明会 5月9日（火）及び5月19日（金）
- ・地区支援チーム研修「チームになる！」ワークショップ～互いの強みを生かした地域支援へ～
6月26日（月）及び6月29日（木）※計3回 参加者145名

講義・演習 講師：渡辺裕一氏（武蔵野大学 人間科学部 社会福祉学科教授）

②ほっとなまちづくりフォーラム 第40回保土ケ谷区社会福祉大会

開催日：12月2日（土） 参加者約400名

講演：「担い手づくり・情報」～みんなで「きっかけ」「活躍」「情報」を生み出して、誰もがともに暮らし続けられる地域社会をつくる～

講師：渡辺 裕一 氏（武蔵野大学 人間科学部 社会福祉学科教授）

活動発表 保土ケ谷地区「担い手は・・・つながり!？」

上菅田地区「スマホを活用したコミュニティの情報化」

③こどもワークショップ「ねちよばな」の開催

区全域計画に、こどもの声や意見を反映させるため、区内の小学5～6年生を対象に開催した。

開催日：12月26日（火）※計2回 参加者9名

こどもの権利についてのお話、ねちよばなカードを使った意見交換

講師：長谷川 俊雄 氏（白梅学園大学名誉教授）

④区全域計画の推進

共同事務局として区役所、地域ケアプラザとともに計画の推進に向け取り組んだ。

- ・ほっとなまちづくり推進会議

6月15日（木）区全域計画・地区別計画の報告、目指すまちの姿について（グループワーク）

2月15日（木）第4期保土ケ谷ほっとなまちづくりの進捗状況、こどもワークショップ

「ねちよばな」報告、テーマ別意見交換（グループワーク）

- ・区役所、地域ケアプラザと定例会議等の開催

（6）保土ケ谷区ふれあい助成金の配分

地域福祉の推進を図るため、市社協基金（よこはまあいあい基金、障害者年記念基金）および善意銀行、保土ケ谷区社協財源（共同募金配分金、年末たすけあい募金配分金、日本赤十字社、世帯賛助会費、福祉基金）を財源に保土ケ谷区ふれあい助成金事業を実施した。

配分審査会実施日：6月20日（火）助成決定内容 ※詳細別掲（P26：別表3）

区分		団体数	金額（円）
I 要 援 護 者 支 援 区 分	1) 集いの場活動	A	9件 1,960,000
		B	1件 300,000
		C	2件 250,000
		D	24件 1,844,000
		E	41件 2,915,000
		F	13件 640,000
	2) 家事・生活支援活動	A	2件 650,000
		B	0件 0
		C	1件 90,000
		D	1件 80,000
		E	2件 100,000
	3) 配食活動	A	0件 0
		B	1件 95,000
		C	0件 0
		D	2件 170,000
		E	5件 370,000

		F	0件	0
	4) 送迎活動	A	0件	0
		B	2件	500,000
		C	1件	180,000
Ⅱ 障害児者支援区分	1) 障害児者支援・ 当事者活動	A	0件	0
		B	0件	0
		C	0件	0
		D	1件	60,000
		E	1件	40,000
	2) 宿泊・日帰りハイク事業	A	5件	250,000
3) 視覚・聴覚障害者支援	A	5件	250,000	
Ⅲ 福祉のまちづくり区分		A	19件	710,000
		B	2件	60,000
Ⅳ 健康増進区分		A	2件	20,000
新規事業立ち上げ資金※			3件	120,000
合計			145件	11,654,000

Ⅱ 場広い地域活動の人材の確保・場づくり

(1) 区ボランティアセンターの運営

①ボランティアコーディネーターの配置

ボランティアに関する相談・コーディネート業務の充実を図るため、ボランティアコーディネーターを非常勤職員として雇用し対応した。

ボランティアコーディネーター：2名配置時間：月曜～土曜（9：00～17：00）

②ボランティア相談の実施

ボランティアをしたい人・してほしい人の相談を受け、ボランティアの登録およびボランティアの紹介を行った。

【ボランティア登録者】グループ：41団体（うち新規登録：4団体）

個人：223名（うち新規登録：71名）

【ボランティア依頼・紹介人数・調整数】

	ボランティア区分	児童	障害 児・者	高齢	外国人	限定 せず	その他	合計
年間 合計	依頼件数（件）	36	25	85	1	9	3	159
	紹介人数（人）	50	24	87	0	18	6	185
	調整数（件）	110	76	244	0	46	9	485

【ボランティア依頼内訳】

	調整結果	区分						合計
		児童	障害 児・者	高齢	外国人	限定 せず	その他	
ボ ラ ン テ ィ ア 依 頼	紹介件数	23	13	59	0	7	3	105
	調整中	2	4	13	0	0	0	19
	調整つかず	8	5	5	0	2	0	20
	取り下げ	3	3	8	0	0	0	14
	情報提供	0	0	0	1	0	0	1
	内訳計	36	25	85	1	9	3	159

(2) ボランティア講座等の開催

①ボランティア体験・交流会

新規ボランティア活動者の発掘と登録ボランティアで活動に繋がっていない方、活動を休止していた方等がボランティア活動やボランティア同士で繋がることを目的に実施。

- ・実施日：8月5日（日）
- ・参加者：11名、協力ボランティア：24名
- ・内 容【体験コーナー】手話ダンス鑑賞、手話体験、車いす体験、ボッチャ体験、バルーンアート体験
- 【交流コーナー】折り紙体験、情報交換サロン、ボランティア相談コーナー

②傾聴ボランティア入門講座

ボランティア活動をはじめると必要となる傾聴力（聴く力、伝える力、分かりあう力）を養い、傾聴あるいは傾聴以外のあらゆるボランティア活動へ繋がることを目指すために実施。

- ・実施日：11月2日（木）、11月9日（木）、11月16日（木）
- ・参加者：15名

③傾聴ボランティア初級講座

傾聴ボランティア入門講座受講者のスキルアップを目指すために実施。

- ・実施日：2月1日（木）、3月7日（木）
- ・参加者：10名

④手話入門講座

手話を知り、手話あるいは手話以外のボランティア活動に関心を持ち、手話に興味はあるが、参加するきっかけがなかった方が手話サークルの活動に繋がることを目指すために実施。

- ・実施日：2月15日（木） 2月22日（木） 2月29日（木）
- ・参加者：17名

⑤草刈り・刈り込みボランティア入門講座

草刈りボランティア活動の理解を深め、個人宅等での草刈りを行うボランティア育成を目指すために実施。

- ・実施日：3月24日（日）
- ・参加者：13名

（3）企業や社会福祉法人の地域貢献活動の充実

クリスマスケーキの配分

善意銀行にケーキ100個の寄託を受け、地域作業所等へ配分した。

- ・実施日：12月22日（金）
- ・配分先：計33施設・団体（児童福祉施設等7か所、障害者地域作業所等26か所）
- ・寄付者：匿名（寄付者の意向による）

（4）地域における福祉教育・福祉啓発の推進

①福祉教育推進事業

学校等からの福祉教育の取組依頼に対して、情報提供や講師調整などの支援を実施した。学校からの依頼件数は前年度と同水準で推移し、多くの学校で福祉教育の授業を実施することができた。また、多くの団体の協力により、今までの枠にとらわれない多様な内容での実施につながった。

- ・内 容：障がい当事者や親の会による障がい理解に関する講演や“地域を知ろう”をテーマに民生委員・児童委員や自治会の方よりお話をいただいた。
- ・実施回数：

小学校	（22件）	22日	35コマ	延べ参加者数	2,504名
中学校	（1校）	1日	1コマ	延べ参加者数	42名
高等学校	（2校）	2日	11コマ	延べ参加者数	452名
地域	（1地区）	1日	1コマ	延べ参加者数	25名

②「福祉教育ニュース」の発行

福祉教育の基本的な考え方、福祉教育体験プログラムの実践事例紹介、令和5年度学校等における福祉教育実施一覽、福祉教育実施までの流れ

- ・時 期：3月発行
- ・部 数：1,500部 区内小中学校・関係機関等へ配布



(5) 福祉保健活動拠点の運営

ボランティアグループ、障がい者団体等、地域における自主的な福祉保健活動を行っている団体に対して、部屋や印刷機等備品貸し出しを行い、活動の場を提供した。

①利用状況

- ・登録団体：123団体（令和6年3月末）
- ・利用件数：3,276件（単位；件）

諸室	年間合計（件）
団体交流室	861
多目的研修室 他	2,415

②利用調整会議

- ・実施日：3月4日（月）
- ・場 所：多目的研修室Ⅰ・Ⅱ
- ・参加団体数：32団体
- ・内 容：福祉保健活動拠点利用にあたっての留意事項、印刷機の使い方について、ボランティア保険について、情報交換・懇談

Ⅲ 支援を必要とする人への自立・生活支援

(1) 移動情報センター事業の実施

障害のある方のための外出相談窓口として、相談の受付、ヘルパー事業所等の情報収集、ボランティアの育成を行った。

①相談窓口での相談調整

障害のある方本人や家族からの相談を受け、外出の目的や行き先などニーズにあわせた相談や情報提供を行った。 相談件数：238 件

(内訳)

対象者種別	件数
身体障害	30
知的障害	138
精神障害	54
重複障害	4
その他（高齢者含む）	12
合計	238

②ガイドボランティア障害理解講座・茶話会の実施

ガイドボランティアを対象に障害理解講座を開催した。

また、1人で活動することが多いガイドボランティアが、他のガイドボランティアと交流することを目的に、ガイドボランティア茶話会を2回実施した（うち1回は障害理解講座と同時に実施）。

- ・第1回ガイドボランティア茶話会
- ・ガイドボランティア障害理解講座「知的障害の方の成長に寄り添う関わりとは」
日時：8月22日(火) 参加者 15名
場所：保土ヶ谷区福祉活動拠点 多目的研修室
講師：横浜市立ろう特別支援学校 橋高 敏也 教諭
- ・第2回ガイドボランティア茶話会
日時：1月23日(火) 参加者 8名
場所：保土ヶ谷区福祉活動拠点 多目的研修室

③おたのしみ交流会（利用者・家族とガイドボランティアの交流会）の実施

18歳未満の利用者・家族とガイドボランティアが交流を深めるために企画した。一般社団法人ヨコハマ・インクル・ボッチャ・ラボ 岩村宇博氏を講師に招き、ボッチャを行った。ゲームをしながら交流したことで、今後のマッチングにつながる機会ともなった。

- ・実施日：3月20日（水・祝） 参加者：17名
- ・場 所：保土ヶ谷区福祉保健活動拠点 多目的研修室
- ・講 師：一般社団法人ヨコハマ・インクル・ボッチャ・ラボ 岩村 宇博 氏

④推進会議の開催

移動情報センターの各業務の推進について、関係機関の方から意見をいただく推進会議を定期的に関催した。

- 第1回 開催日：6月29日（水） 出席者：21名
○令和4年度事業報告・令和5年度事業計画、ガイドボランティアの活動紹介他
- 第2回 開催日：11月8日（水）、2月14日（水）
○11月は、保土ヶ谷区内地域ケアプラザ地域交流コーディネーター連絡会で移動情報センターについて情報提供を行った。
○2月は、横浜市ろう特別支援学校見学・保土ヶ谷区内地域ケアプラザ地域交流コーディネーター連絡会で情報交換、今後、ガイボラ講座をケアプラザで開催するなど協力・連携を依頼した。
- 第3回 開催日：3月6日（水） 出席者：20名
○第2回の報告、令和6年度事業計画、広報紙いこうya ほどがya! の紹介

⑤事業者連絡会の開催

保土ヶ谷区を担当する事業所に対してアンケートを実施、その結果を幹事事業所の職員2名とともに分析、令和6年度以降どのように事業所連絡会を進めていくかを検討した。

⑥広報紙「いこうya ほどがya!」の発行

移動情報センターの事業紹介やガイドボランティア募集等を目的に発行。区内と区外の児童生徒が通う小中学校、特別支援学校のほか、ケアプラザ、コミュニティハウス、地区センター等にも送付、配架と周知を依頼した。また、周知啓発のため、地域へも配布した。

- 発行月：2月
- 発行部数 2,500部



(2) あんしんセンター（権利擁護事業）の運営

区内の高齢者・障がい者を対象に、権利擁護に関わる相談を受け付けるとともに、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理サービス、財産関係書類等預かりサービスを契約に基づいて提供した。

・相談件数：53件

（内訳）

対象者種別	件数
知的障がい者	3
精神障がい者	7
身体障がい者	1
高齢・認知症	1
高齢・その他(認知症以外)	39
その他	2
合計	53

・契約件数（令和6年3月末時点）

サービス内容	件数
福祉サービス利用援助、定期訪問・金銭管理サービス契約 （うち、財産関係書類等預かりサービス契約）	63 (12)

※新規契約者数：11名

契約終了者数：14名（うち1名は預かりサービス契約のみ）

①出張説明

関係機関からの依頼により、権利擁護事業について出張説明を行った。

実施日	主催	対象	実施場所
9月29日 （金）	区内地域包括支援センター 主任ケアマネジャー	新任・就労予定ケア マネジャー	星川地域 ケアプラザ
11月25日 （土）	横浜市障がい者後見的支援室 ほどがやゆめあん	障害当事者とその家族	保土ヶ谷地域 ケアプラザ

②地域包括支援センター連絡会（社会福祉士分科会）

毎月開催の地域包括支援センター連絡会（社会福祉士分科会）に参加し、権利擁護事業に関する情報交換および事例検討、サポートネット等各種研修会開催のための打ち合わせを行った。

(3) 市民後見人養成・活動支援事業

保土ヶ谷区、西区、南区の3区で構成されたブロックの市民後見人バンク登録者を対象に、市民後見サポートネットとして、市民後見人の支援を目的とした事例検討を実施した。

11月17日（金） 場 所：保土ヶ谷区福祉保健活動拠点

11月21日（火） 場 所：南区役所

2月 1日(木) 場 所：西区福祉保健活動拠点
 参加者：市民後見人バンク登録者、専門職講師、地域包括支援センター、
 区高齢・障害支援課、基幹相談支援センター、よこはま成年後見推進センター、
 区社協など

(4) 成年後見制度利用促進に向けた取組

各支援機関のネットワークづくりおよび専門職のスキルアップを目的とした成年後見サポート
 ネット全体会・専門職会議へ参加し、権利擁護が必要な困難事例や課題の検討を行った。

6月15日(木) 場 所：保土ケ谷区役所
 9月21日(木) 場 所：保土ケ谷区役所
 12月14日(木) 場 所：保土ケ谷区役所
 3月14日(水) 場 所：保土ケ谷区役所 ※専門職会議のみ
 参加者：専門職講師、地域包括支援センター、区高齢・障害支援課、
 基幹相談支援センター、よこはま成年後見推進センター、区社協など

(5) 生活福祉資金貸付事業

- ・相談件数：1,729件
- ・貸付件数：14件
- ・貸付総額：5,851,000円

(内訳)

資金の種類	件数	貸付金額(円)
福祉資金	2	567,000
緊急小口資金	3	270,000
教育支援資金	9	5,014,000
不動産担保型生活資金	0	0
合計	14	5,851,000

①福祉資金・教育支援資金

低所得者や障がい者世帯、離職者などに対し、民生委員の支援のもとに、自立に必要な資金の
 貸付、償還指導を行った。

- ・相談件数：1,225件 貸付件数：11件

②不動産担保型生活資金・要保護世帯向け不動産担保型生活資金

不動産があっても現金収入が少ない高齢者世帯に対し、その所有物件を担保に貸付する資金に
 ついての相談を行った。

- ・相談件数：118件 貸付件数：0件

③緊急小口資金

離職などによって住居を喪失し、生活維持が困難である離職者に対して、公的給付までの期間
 の生活費の貸付について相談を行った。

- ・相談件数：736件 貸付件数：3件

④総合支援資金・臨時特例つなぎ資金

失業等により日常生活に困難を抱え、生活の立て直しのために継続的な相談支援と生活費およ
 び一時的資金を必要とする世帯に対し相談を行った。

- ・相談件数：388件 貸付件数：0件 ※特例貸付を除く

⑤生活福祉資金貸付事業民生委員研修

(ア) 民生委員を対象に、生活福祉資金貸付制度についての説明や民生委員への協力依頼および情報交換を目的として実施した。

実施日	4月21日(金)	5月15日(月)
対象	保土ヶ谷西部地区民児協	和田・釜台地区民児協
場所	防犯センター	和田東部自治会館
民生委員数	6名	7名

(イ) 児童支援・生徒指導専任教諭会での説明

・11月の会議で教育支援資金について案内した

・中学校進路指導教諭との懇談会を実施した

実施日：10月10日(火) 場所：新井中学校

実施日：11月30日(木) 場所：保土ヶ谷中学校

(6) 自立生活支援関連事業

①生活困窮者への食支援

・区生活支援課・こども家庭支援課・児童相談所・地域ケアプラザ等で把握した生活困窮世帯に対し、約1週間分の食支援を実施。自立するまで複数回実施した家庭も多数あった。

・延べ実施回数：169回

・ひとり親世帯支援区こども家庭支援課・西部児童相談所・スクールソーシャルワーカーと連携し、生活に困窮している世帯に、1週間分の食支援を行った。継続して支援が必要な世帯には必要な分の支援を行った。

・支援世帯数：延べ64世帯

②セブンイレブン・ジャパンとの連携

閉店・改装店舗から食料等の物品の寄付を受け区内の福祉施設で活用いただく取組を実施。物品の配分にあたり西部ユースプラザの協力を得て実施した。また学生への支援に活用された。

・食料等預託数：1件

③区内企業との連携

・日本ウィンナー(株)・(株)ジャンボリア、日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社・株式会社HT wells から食材や食品の寄贈を受け、地域食堂(こども食堂、みんなの食堂等)に配分した。

・保土ヶ谷公園や特別養護老人ホームの防災備蓄物品のうち消費期限が近い物の提供を受けて、食糧支援に活用した。

・協力施設：4団体(保土ヶ谷公園・かわしまホーム・たちほ도가や・横浜エデンの園)

④フードドライブ

フードドライブの取組について啓発を進め、地域での企画・実施を支援した。区民会議、地区社協、横浜市資源循環局の協力により、バザーなどのイベント等の事業の協力もあり、地域を主体としたフードドライブが実施された。

- いただいた食料の提供件数：個人 46 件、フードバンク 12 件
- 地区社協 1 件、寺院 2 件、NPO3 件、地域ケアプラザ1 件、子育て支援拠点 1 件
- 区フードドライブ（区民会議）26 件

(7) 災害時のボランティア活動に向けた啓発活動

保土ケ谷区災害ボランティアネットワーク

災害に備えてボランティア団体および地域防災拠点関係者などが、平常時から交流をすることで連携の充実を図ることを目的とし、研修および訓練等を行った。（区役所と共同事務局）

<総会>

- 実施日：5月14日（日）保土ケ谷区福祉保健活動拠点 団体交流室
- 参加者：出席 20 名 委任状 43 名（団体会員・個人会員・地域防災拠点関係者等）
- 内 容：令和4年度活動報告および収支決算報告について
会計監査報告について
令和5年度活動計画（案）および収支予算（案）について
役員一部改選について

<運営委員会> 計 10 回

4月25日（火）、7月6日（木）、8月3日（木）、9月7日（木）、10月10日（火）、11月7日（火）、12月12日（火）、1月16日（火）、2月27日（火）、3月22日（金）

<ほどがや区民まつりへの参加>

- 実施日：10月28日（土）
- 内 容：パネル展示、ペット同行避難に関するグッズを通して防災・減災活動の啓発を実施した。

<災害ボランティアセンターシミュレーション訓練>

- 実施日：11月12日（日）保土ケ谷区福祉保健活動拠点 多目的研修室
- 参加者：区社協 8 名、運営委員 8 名 防災拠点 1 名 会員その他 5 名 区役所 5 名
- 内 容：市域全体で導入している災害情報システムの内容について座学形式で確認し、その後発災時に立ち上がる、災害ボランティアセンターにおける災害ボランティアの受け入れから調整・派遣まで流れをツアー形式で実施した。

<防災講演会「いざというときの備え」の実施>

区災害ボランティアネットワークの運営委員が講師となり、防災・減災啓発の講演会を開催。

- 実施日：2月17日（土）
- 参加者：92 名

- ・内 容：過去の地震から見る地震対策、水害ハザードマップの使い方/探し方、地震対策の在り方を見つめる

＜防災ウォークの実施＞

- ・実施日：3月17日（日）
- ・参加者：災ボラ運営委員6名、会員1名、区役所6名
- ・内 容：丘陵地中心に歩き、土砂崩れの危険性がある場所などの確認をおこなった。

（8）子育て支援

保土ケ谷区地域子育て支援連絡会

地域で安心して子育てができる環境づくりを推進するため、子育て支援を行っている関係機関等のネットワークを構築するとともに、子育て支援の情報の整理・共有、意識・知識の向上を図った。（区役所、保育園、保土ケ谷区地域子育て支援拠点こっころとの共同事務局）

全体会の他、各地域ケアプラザエリアに子育て支援連絡会を開催した。

＜全体会＞：9月28日（木） 参加者：124名 場 所：保土ケ谷公会堂

①取組発表：星川地域ケアプラザエリア『星川地区における取り組み』

②講演テーマ：「保土ケ谷区子育てアンケートからみえる子育て支援」

講師：日本体育大学体育学部健康学科ヘルスプロモーション領域 准教授 三瓶 舞紀子 氏

（9）障がい当事者団体等の支援

①障がい者週間キャンペーン

「障害者週間」に障がい理解促進のためのキャンペーン活動を実施した。

実施日：12月7日（木）

場 所：区役所前、イオン天王町店、横浜ビジネスパーク、保土ケ谷駅

参加者：当事者団体部会・ボランティア市民活動団体分科会

ボランティア団体・帷子小学校（3年生・教師）135名

内 容：啓発用チラシ・ティッシュの配布

②保土ヶ谷区地域自立支援協議会

障害者総合支援法に位置付けられ、地域の関係機関と連携し、情報を共有しネットワークを構築することを目的としている会議に、事務局のメンバーとして参画した。自立支援協議会は9つの部会で構成されており、区社協は防災部会、当事者部会、こども余暇部会、精神ネット部会及び事務局に参画した。

	全体会（第1回代表者会）	第2回代表者会
日時	6月1日（木）	11月2日（木）
場所	保土ヶ谷公会堂	保土ヶ谷公会堂
内容	①自立支援協議会について ②令和4年度報告・令和5年度実施概要 ③グループワーク「みんなに共有したいこと！」	①地域生活支援拠点について ②各部会より R5 年度中間活動報告 ③グループワーク「地域生活支援拠点とつながりを考える」

<担当者会議>

各部会の共有を行い、協議会の運営状況や方向性を共有するための会議に参画した。

- ・開催日：7月6日（木）、11月30日（木）、2月29日（木）

<事務局会議>

計12回開催。協議会全体の進行状況や課題について整理し、進行管理を行う会議に参画。

<防災部会>

被災地障害者災害支援センターの立上げや事務局体制、課題等について検討した。

<当事者活動支援部会>

ボランティア分科会との共催で、区民祭りでボッチャ体験会を実施。また、障害者週間キャンペーンを実施。2月3日保土ヶ谷公会堂で映画「どんぐりの家」上映会及び製品販売会を実施。県商工も司会と販売で参加。

<こども余暇部会>

例年、地域ケアプラザや障がい者施設、支援学校とともに、障がい児余暇支援事業等を行っており、今年度は障がい児余暇支援事業の報告など2回開催した。

<区精神 net 部会>

精神障がい者が安心して暮らしていくことのできる地域を目指し、関係機関同士のつながりづくりや生活課題の解決等に向けた事例検討や協議などを進めた。

また、アウトリーチ事業における連携等を進めた。（保土ヶ谷区のアウトリーチを考える会）

③各種施設運営協議会等への参加

地域活動ホーム、地域活動支援センター、地域作業所、地域療育センター、はまっ子ふれあいスクール、区内地域ケアプラザの運営協議会等に参加して連携強化に努めた。

④保土ヶ谷区障害者地域作業所連絡会への参加

保土ヶ谷区障害者地域作業所連絡会（区作連）の全体会・事務局会議・防災プロジェクトに出席した。防災プロジェクトでは、小学校での福祉教育の位置づけで出前講座を実施した。

④障がい児余暇支援事業「ほっとフレンズ」

区内地域ケアプラザ・関係機関と相互に協力し実施した。

	ほっとフレンズ 2023 夏	ほっとフレンズ 2024 春
実施日	7月30日(日)	3月24日(日)
場 所	みなとみらい カップヌードルミュージアム	上菅田地域ケアプラザ
参加 親子	7組(途中帰宅1組)	6組
内 容	エアキャビン乗車、カップヌードルミュージアム鑑賞	和太鼓の演奏鑑賞、玉ねぎ染め(保護者)



(10) その他

①小災害見舞金の交付

区内で発生した小災害(火災・風水害・地震等)の被災者に対して見舞金を交付した。

・見舞件数:1件、合計15,000円

【内訳】

区分	件数	区社協分単価	見舞金額	備考
全焼(全壊)	1件	15,000円	15,000円	全焼・重傷
半焼(半壊)	0件	0円	0円	-
合計	1件		15,000円	

②行旅人など援護事業

区福祉保健センターを通し、行旅人などへ交通費等の援護を行った。

・援護費利用人数:4名

・援護支出金額:3,760円

Ⅳ 区社協の機能・体制の強化

(1) 情報の収集と発信

① 広報紙「社協ほ도가や」第51号の発行

本会の事業紹介や地域福祉に関わる特集を通じて福祉の普及を目的とし、広報紙を発行した。

- 発行回数：1回（10月発行）
- 発行部数：82,000部（全戸配布）

＜内容＞

- 特集テーマ「地域に広がるこども食堂」
- 区社協からのお知らせ（ボランティアセンター、善意銀行、ほっとなまちづくりフォーラム 第40回保土ヶ谷区社会福祉大会等）
- 共同募金会保土ヶ谷区支会、日本赤十字社保土ヶ谷区地区からのお知らせ



② 「ボラセンだより」の発行

ボランティア登録者、ボランティアセンター来館者およびボランティア依頼者に対し情報提供を行った。

- 発行回数：3回（秋号10月・新春号1月・春号3月発行）
- 発行部数：1,500部



③ ボランティアセンター公式 Instagram

幅広い年齢層へのボランティアに関する周知啓発のために Instagram を活用し、情報発信を行った。

- 発信回数：28回



(2) ほっとなまちづくりフォーラム 第40回保土ヶ谷区社会福祉大会の開催

- 実施日：12月2日（土）
- 場 所：保土ヶ谷公会堂 参加者：400名
- 共 催：区役所
- 内 容：社会福祉功績者表彰式典：自立支援活動功労6名・4団体、金品寄贈功労1名
 講演「担い手づくり・情報」～みんなで「きっかけ」「活躍」「情報」を生み出して、誰もがともに暮らし続けられる地域社会をつくる～
 講師：渡辺 裕一 氏（武蔵野大学 人間科学部 社会福祉学科教授）
 活動発表 保土ヶ谷地区「担い手は・・・つながり！？」
 上菅田地区「スマホを活用したコミュニティの情報化」
 福祉バザーと福祉作品展（12団体参加）

(3) 事務局の体制強化と人材区制の取組

研修の実施・参加、交流

職員を様々な外部研修等に派遣し、内部で伝達研修を行い、資質の向上に努めた。

(4) 組織の充実（理事会・評議員会・監事監査・部会・分科会・委員会の開催）

①理事会

実施日 出席者数	主な議題	結果
6月8日 (木) 9名	1.令和4年度事業報告及び収入支出決算(案)について 2.監事候補者の選定について 3.評議員選任候補者の推薦について 4.評議員選任・解任委員会委員の選任について 5.評議員選任・解任委員会の招集について 6.評議員会の招集について	1.原案どおり承認された 2.原案どおり選定された 3.原案どおり推薦された 4.原案どおり選任された 5.原案どおり承認された 6.原案どおり承認された
6月23日 (金) 10名	1.会長・副会長の選定について 2.会員の入会について 3.評議員選任・解任委員会委員の選任について	1.理事の互選により選定された 2.原案どおり承認された 3.原案どおり選任された
9月14日 (木) 8名	1.会員の入会について 2.補正予算(案)について 3.評議員選任候補者の推薦について 4.処務規程の改正について 5.評議員選任・解任委員会の招集について 6.評議員会の招集について	1.原案どおり承認された 2.原案どおり承認された 3.原案どおり推薦された 4.原案どおり承認された 5.原案どおり承認された 6.原案どおり承認された
3月11日 (月) 9名	1.会員の入会について 2.令和5年度補正予算(案)について 3.令和6年度事業計画及び予算(案)について 4.役員等賠償責任保険契約について 5.評議員選任候補者の推薦について 6.評議員選任・解任委員会の招集について 7.評議員会の招集について	1.原案どおり承認された 2.原案どおり承認された 3.原案どおり承認された 4.原案どおり承認された 5.原案どおり承認された 6.原案どおり承認された 7.原案どおり承認された

②評議員会

実施日 出席者数	主な議題	結果
6月23日 (金) 17名	1.令和4年度事業報告及び収入支出決算(案) 2.定款の変更について 3.理事・監事・評議員選任規程の改定について 4.理事および監事の選任について	1.原案どおり承認された 2.原案どおり承認された 3.原案どおり承認された 4.原案どおり選任された

9月26日 (火) 18名	1.補正予算(案)について 2.経理規程の改正について 3.事務局規程の改正について	1.原案どおり承認された 2.原案どおり承認された 3.原案どおり承認された
3月22日 (金) 17名	1.令和5年度 補正予算(案)について 2.令和6年度 事業計画及び予算(案)について 3.理事・監事・評議員選任規程の改正について 4.理事の選任について	1.原案どおり承認された 2.原案どおり承認された 3.原案どおり承認された 4.原案どおり選任された

③監事監査

実施日 出席者数	主な議題	結果
5月25日 (木) 2名	1.事業執行状況について 2.経理状況及び財産状況について	1.適正であると認められた 2.適正であると認められた

④当事者部会

実施日 出席者数	主な議題	結果
7月8日 (土) 4名	1.障害者週間キャンペーンについて 2.当事者部会の持ち方について	1.今年度実施することを決定し、詳細は後日決めることとした。 2.区民まつりで障がい理解を啓発する案が出され、ポッチャ体験を行うこととした。
11月11日 (土) 4名	1.障害者週間キャンペーンについて 2.ときわ虹の会の紹介について	1. 障害者週間キャンペーンを今年度も実施、日程の確認などを行った。 2.聴覚障害者の親の会であるときわ虹の会と意見交換を行い、福祉教育の役割分担や、次年度当事者部会に入ってもらふことなどを話し合った。

⑥ボランティア市民活動分科会

実施日 出席者数	主な議題	結果
10月24日 (火) 4名	1.区民まつりについて 2.障がい者週間キャンペーンについて 3.情報交換	1.出展内容と役割分担等を確認 2.内容と日時等を確認 3.出席団体の情報交換を行った

⑥自治会町内会分科会（保土ヶ谷区連合町内会長連絡会）

実施日 出席者数	主な議題	結果
4月18日 (火) 20名	1. 分科会正副分科会長の選出について 2. 区社協理事候補者の推薦について 3. 区社協広報紙「社協ほどがや」編集委員の選出について	1. 原案どおり選出された 2. 原案どおり推薦された 3. 原案どおり選出された
7月18日 (火) 19名	1. 分科会副分科会長の選出について 2. 分科会副分科会長の選出について	1. 原案どおり選出された 2. 原案どおり推薦された

⑦地区社協分科会

実施日 出席者数	主な議題	結果
5月31日 (水) 34名	1. 令和5年度保土ヶ谷区社会福祉協議会事業計画について 2. 令和5年度地区社協分科会等について 3. 第4期ほとなまちづくりについて 他 4. 【意見交換】with コロナの気運が高まっている中での地域活動再開に向けた工夫	1. 資料に基づき事務局より説明 2. 資料に基づき事務局より説明 3. 資料に基づき事務局より説明 4. グループワークを行った
9月7日 (木) 36名	1. ほとなまちづくりフォーラム 第40回保土ヶ谷区社会福祉大会について 2. 令和5年度保土ヶ谷区社会福祉協議会世帯賛助会費の募集について 3. 赤い羽根共同募金について 他 4. 【意見交換】地区社協分科会の充実に向けて	1. 資料に基づき事務局より説明 2. 資料に基づき事務局より説明と依頼 3. 資料に基づき事務局より説明と依頼 4. グループワークを行った
11月29日 (水) 35名	1. 保土ヶ谷ほとなまちづくり地区別計画振り返りについて 2. ほとなまちづくりフォーラムについて 3. こども食堂・地域食堂について 他 4. 【意見交換】コロナ禍後の地域活動について/今後の地区社協分科会充実に向けて	1. 資料に基づき事務局より説明 2. 資料に基づき事務局より説明と依頼 3. 資料に基づき事務局より説明と依頼 4. グループワークを行った

3月7日 (木) 36名	1.令和6年度地区社協への助成金について 2.よこはまの地区社協活動および地区社協状況書について 他 3.【意見交換】令和6年度の地区社協事業計画策定方法や工夫点について	1.資料に基づき事務局より説明 2.資料に基づき事務局より説明と依頼 3.グループワークを行った
--------------------	---	--

⑧ボランティアセンター運営委員会

実施日 出席者数	主な議題	結果
3月11日 (月) 10名	1.相談・コーディネート状況について 2.福祉教育実施状況について 3.善意銀行の運営について 4.令和6年度事業計画について	1.活動状況報告 2.活動状況報告 3.案のとおり承認された 4.案のとおり承認された

⑨評議員選任・解任委員会

実施日 出席者数	主な議題	結果
6月8日 (木) 4名	1.評議員の選任について	1.理事会での推薦のとおり選任された
9月14日 (木) 4名	1.評議員の選任について	1.理事会での推薦のとおり選任された
3月11日 (月) 4名	1.評議員の選任について	1.理事会での推薦のとおり選任された

⑩社協ほどがや編集委員会

実施日 出席者数	主な議題	結果
8月29日 (火) 7名	1.委員長、副委員長の選出について 2.社協ほどがや第51号の内容について	1.委員長、副委員長を選出した。 2.特集ページの内容について意見を伺い、合意した。

(5) 財政基盤の強化・寄付文化の醸成

<p>①世帯賛助会費 地域の福祉活動を支援するために地域の方々、自治会町内会の協力により世帯賛助会費を募集し、区社協および地区社協活動費として活用した。 ・実績額 11,878,557円 ※詳細別掲(P24:別表1)</p>
<p>②善意銀行預託金配分事業 寄付金品の預託を受け、ボランティアセンター運営委員会および事務局にて配分案を決定した。</p>

※寄託・配分内容 別掲（P25：別表2）

- 寄付金品：預託金 740,789 円（20 件）、寄託品 11 件
- 今年度配分
ふれあい助成金 500,000 円、食支援事業 200,000 円、善意銀行事務費 300 円
- 次年度配分
ふれあい助成金 500,000 円、食支援事業 200,000 円、善意銀行事務費 30,000 円

（6）苦情解決・情報公開体制の充実

苦情解決制度・情報公開制度

申立件数 いずれも0件

（7）相談しやすい環境の整備

ご意見箱を設置し、寄せられた意見、要望、提案、苦情等に対して回答・対応できる体制を整えた。

ご意見箱の設置場所：区福祉保健活動拠点通路壁面

提案用紙の設置場所：区福祉保健活動拠点内各室（全8か所）ご意見箱受付件数：0件

（8）福祉関係5団体の事務局運営

福祉関係団体の事務局を運営し、連携の強化による地域福祉の推進に努めた。

- 神奈川県共同募金会保土ヶ谷区支会
- 日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部保土ヶ谷区地区委員会
- 保土ヶ谷保護司会
- 保土ヶ谷区遺族会
- 保土ヶ谷区更生保護女性会

令和5年度 世帯賛助会費実績・地区社協還元金額一覧（別表1）

実績総額 11,878,557 円

（単位：円）

No.	地区社協名	①世帯数 (R5. 10. 1現在)	②算定世帯数 (①×90%)	③目安額 (@250×②)	④実績額	⑤還元金額
1	保土ヶ谷	3,455	3,106	776,500	429,855	258,000
2	保土ヶ谷南部	2,731	2,456	614,000	254,800	153,000
3	保土ヶ谷中	2,222	1,999	499,750	321,950	194,000
4	保土ヶ谷東部	8,318	7,479	1,869,750	1,288,531	774,000
5	保土ヶ谷西部	3,864	3,474	868,500	680,365	409,000
6	新桜ヶ丘	2,530	2,276	569,000	460,673	277,000
7	権太坂境木	3,262	2,932	733,000	703,005	422,000
8	岩井町原	1,997	1,795	448,750	231,272	139,000
9	岩間	7,690	6,915	1,728,750	923,225	554,000
10	中央	7,558	6,798	1,699,500	983,300	590,000
11	中央東部	4,646	4,179	1,044,750	742,482	446,000
12	和田・釜台	2,933	2,639	659,750	354,165	213,000
13	上星川	2,615	2,353	588,250	379,829	228,000
14	常盤台	3,038	2,731	682,750	522,058	314,000
15	川島東部	3,290	2,961	740,250	477,050	287,000
16	仏向	5,306	4,774	1,193,500	928,091	557,000
17	川島原	2,702	2,426	606,500	322,800	194,000
18	西谷	3,203	2,881	720,250	493,250	296,000
19	上新	1,833	1,649	412,250	389,315	234,000
20	笹山	985	886	221,500	66,691	41,000
21	千丸台	1,050	945	236,250	203,455	123,000
22	上菅田	4,061	3,650	912,500	722,395	434,000
合計		79,289	71,304	17,826,000	11,878,557	7,137,000

（単位：円）

	実績額	地区社協還元額	区社協活動費
第1回（～3/18納入分）	11,589,007	6,934,000	4,655,007
第2回（3/19～3/31納入分）	289,550	173,000	116,550
合計	11,878,557	7,107,000	4,771,557

※世帯賛助会費実績額の60%を各地区社協へ還元（1,000円未満を切り上げ）

善意銀行寄託金品内訳(別表2)

令和5年度 金銭寄付者一覧 20件 計740,789円

No.	預託日	氏名・団体	個人・団体	金額	備考
1	2023年5月27日	匿名	個人	¥3,531	福祉一般のため
2	2023年6月23日	西谷地区社会福祉協議会	団体	¥10,000	食支援のため
3	2023年6月29日	みんなde食堂実行委員会	団体	¥35,822	福祉一般のため
4	2023年7月12日	匿名	個人	¥100,000	児童福祉・食支援のため
5	2023年7月19日	田村 眞佐子	個人	¥100,000	児童福祉のため
6	2023年8月11日	大日本プロレス・湘南プロレス	団体	¥30,000	福祉一般のため
7	2023年8月19日	匿名	個人	¥100,000	子ども食堂・食支援のため
8	2023年9月28日	株式会社 モンズ	団体	¥30,000	福祉一般のため
9	2023年9月30日	吉野 都茂恵	個人	¥100,000	福祉一般のため
10	2023年11月3日	仏向地区社会福祉協議会	団体	¥14,312	食支援のため
11	2023年11月13日	神奈川県LPガス協会 横浜旭保土ヶ谷支部	団体	¥30,000	福祉一般のため
12	2023年11月14日	NPO法人 かみすげた茶屋	団体	¥7,000	生活困窮者支援のため
13	2023年11月17日	一般社団法人 保土ヶ谷青色申告会	団体	¥20,000	福祉一般のため
14	2023年12月8日	匿名	個人	¥30,000	福祉一般のため
15	2023年12月18日	匿名	個人	¥10,000	福祉一般のため
16	2023年12月20日	平本 義則	個人	¥5,000	食支援のため
17	2023年12月22日	匿名	個人	¥100,000	福祉一般のため
18	2023年12月26日	匿名	個人	¥10,000	子ども食堂のため
19	2024年1月22日	匿名	団体	¥5,000	福祉一般のため (物品No.11を換金)
20	2024年3月22日	匿名	個人	¥124	福祉一般のため

合計 ¥740,789

令和5年度 物品寄付者一覧 12件

No.	預託日	氏名・団体	個人・団体	物品名	配分先
1	2023年4月27日	一般社団法人 バンクフォースマイルズ	団体	コスメギフト115セット	子ども食堂・地域食堂 計5団体
2	2023年5月11日	伊藤 辰郎	個人	毛糸60個	個人(地域活動者)
3	2023年5月16日	さくらや横浜	団体	中古ランドセル4つ	千丸台地区社協
4	2023年6月27日	匿名	個人	靴下25足、折り畳み傘1本、ポロシャツ1枚	大規模食支援時に困窮世帯に配分
5	2024年9月4日	匿名	個人	車いす1台(中古)	特別養護老人ホームさわやか苑
6	2023年9月12日	匿名	個人	手芸用品(布/針・糸・綿・ハサミ)	ちくちく
7	2023年11月20日	一般財団法人ポケモンウィズユー財団	団体	ペーパークラフト「マルチディスプレイスタンド」	区内子ども食堂
8	2023年12月9日	一般社団法人 バンクフォースマイルズ	団体	コスメギフト172セット	子ども食堂・地域食堂 計9団体
9	2023年12月22日	匿名	団体	クリスマスケーキ100個	区内33施設・団体(障がい児者及び児童福祉の施設・団体)
10	2024年1月12日	匿名	個人	車いす1台(中古)	保土ヶ谷区社協事業で活用
11	2024年1月22日	匿名	団体	商品券5,000円相当	換金、金銭寄付として受領。金銭No.19
12	2024年3月30日	匿名	個人	車いす1台(中古)	特別養護老人ホームさわやか苑

保土ケ谷区ふれあい助成金助成団体および助成額内訳（別表3）

事業助成配分団体

145件

助成総額

11,654,000円

I 要援護者支援区分

1) 集いの場

NO.	区分	団体名	交付額
1	A	特定非営利活動法人 居場所そら	¥400,000
2	A	特定非営利活動法人 かみすげた茶屋	¥400,000
3	A	動物愛護福祉支援協会（地域コミュニティカフェニャトワン）	¥400,000
4	A	ルネクラブ	¥300,000
5	A	福祉ふれあいサロン	¥100,000
6	A	地域交流ボランティアセンター	¥150,000
7	A	新桜ヶ丘住宅住民支え合いグループ	¥80,000
8	A	明寿会	¥50,000
9	A	スポーツ愛好会	¥80,000
10	B	ほどがや無料塾	¥300,000
11	C	常盤台地区高齢者交流会食会	¥70,000
12	C	こどもの居場所 こどもの遊び場	¥180,000
13	D	チューリップ	¥80,000
14	D	サロン花きずな	¥50,000
15	D	健康長寿体操むつみ	¥94,000
16	D	ふれあい健康体操	¥80,000
17	D	東戸塚グリーンタウン体操教室	¥80,000
18	D	ハッピーくぬぎ台 体操教室	¥65,000
19	D	体操グループ“ハッピー”	¥99,000
20	D	いきいき体操サークル	¥40,000
21	D	おしゃべりサロン（みんなで歌おう会）	¥50,000
22	D	子育てサロン「おもちゃばこ」	¥96,000
23	D	シニアサロンやまびこ	¥50,000
24	D	カラオケサークル サロンパンジー	¥50,000
25	D	カラオケ愛好会	¥50,000
26	D	NPO法人 パオパオの木	¥80,000
27	D	特定非営利活動法人 A.S.C.C	¥120,000
28	D	特定非営利活動法人 ピアわらべ	¥120,000
29	D	NPO法人 ちゃっと	¥120,000
30	D	ときわの森体操教室	¥50,000
31	D	G・スマイル	¥50,000

32	D	生き生きシニアの会（カフェグリーン）	¥50,000
33	D	ピッコロ	¥80,000
34	D	たすけあいグループ「ひだまり」	¥120,000
35	D	権太坂境木栄寿会	¥90,000
36	D	ねっこカフェ	¥80,000
37	E	おしゃべりのたまり場	¥80,000
38	E	人形劇団 はまなす	¥80,000
39	E	オレンジサロン	¥80,000
40	E	星の丘ビューシティ健康体操	¥80,000
41	E	コンフォール仏向町健康体操の会	¥50,000
42	E	先輩ママによる赤ちゃん教室 ふふ	¥20,000
43	E	子育てサロンたんぽぽ	¥50,000
44	E	デイ・ケアすみれ	¥80,000
45	E	ふれあいルーム にこちゃん広場	¥50,000
46	E	サロン・ふらっと109	¥80,000
47	E	歌声広場ハーモニーささやま	¥75,000
48	E	子育てサロン さくらんぼ	¥50,000
49	E	サロン de 芙蓉ヶ丘	¥80,000
50	E	みんなでキッチン	¥80,000
51	E	ほっとなサロン	¥80,000
52	E	ミュージック脳トレ 夢	¥80,000
53	E	ふれあいサロン上菅田	¥50,000
54	E	上菅田ふれあいランチ	¥50,000
55	E	星川3丁目サロン はなみずき	¥50,000
56	E	ときわ虹の会	¥80,000
57	E	よつ葉会	¥80,000
58	E	健康麻雀初音が丘	¥80,000
59	E	プレママ・プレパパ塾	¥80,000
60	E	ヒルズほっこり茶房	¥80,000
61	E	肉体美改造計画	¥80,000
62	E	ボランティア団体 星の輪	¥80,000
63	E	コープふれあいの会	¥80,000
64	E	わくわく食堂	¥40,000
65	E	笑話会	¥80,000
66	E	地域拠点 りあん	¥80,000
67	E	子育てサロン おひさま	¥80,000
68	E	ユーアイ・グループ	¥80,000

69	E	和田・釜台地区ミニデイサービスの会	¥80,000
70	E	ふれあい型食事サービスボランティアの会	¥80,000
71	E	横浜友の会 ふたばぐみ	¥80,000
72	E	まぜごはん	¥50,000
73	E	子育てサロン スマイル	¥80,000
74	E	ひまわりの会	¥80,000
75	E	特定非営利活動法人よこはま成年後見つばさ	¥80,000
76	E	おたのしみ会	¥80,000
77	E	仏向楽らくクラブ	¥60,000
78	F	ネーブルカフェ	¥50,000
79	F	ゆうゆうサロン	¥50,000
80	F	木曜会	¥50,000
81	F	富士見台小子育てサロン	¥50,000
82	F	学童保育 たけのこクラブ	¥40,000
83	F	新井小学校文化・スポーツクラブ学校開放部会	¥50,000
84	F	子育てサロン シュークリーム	¥50,000
85	F	ほどがや保育ボランティアかるがもキッズ	¥50,000
86	F	マザーズリンクいわい	¥50,000
87	F	ひまわり	¥50,000
88	F	ボランティアグループ ひまわり	¥50,000
89	F	保土ヶ谷中地区社協 葵の会	¥50,000
90	F	一・二・三会	¥50,000
91	G (新規)	カンガルー	¥40,000
小計			¥7,949,000

2) 家事・生活支援活動

92	A	地域ふれあい収集運営委員会	¥250,000
93	A	特定非営利活動法人 よこはまチャイルドライン	¥400,000
94	C	千丸台地区社会福祉協議会 在宅応急支援	¥90,000
95	D	明神台買物クラブ	¥80,000
96	E	仏向HEROS	¥50,000
97	E	アシスト岩崎	¥50,000
小計			¥920,000

3) 配食活動

98	B	千丸台地区社会福祉協議会 配食サービス	¥95,000
99	D	法泉アクティブサポート	¥90,000
100	D	あじさいの会 (保土ヶ谷中地区配食グループ)	¥80,000
101	E	キッチン友の会	¥80,000
102	E	配食サービス部	¥50,000
103	E	中央地区配食ボランティア	¥80,000
104	E	新井町 お茶葉会	¥80,000
105	E	和田・釜台地区 配食サービス	¥80,000
小計			¥635,000

4) 送迎活動

106	B	仏向地区社会福祉協議会 送迎支援サービス	¥200,000
107	B	仏向ふれあいワゴン	¥300,000
108	C	千丸台地区社会福祉協議会 外出支援	¥180,000
109	G (新規)	ふれあい移動支援実行委員会	¥40,000
小計			¥720,000

II 障害児者支援区分

1) 障害児者支援活動

110	D	B ホップダンス	¥60,000
111	E	市精連かるがも杯 将棋・囲碁大会実行委員会	¥40,000
112	G (新規)	Miraise	¥40,000
小計			¥140,000

2) 宿泊・日帰りハイク

113	A	NPO法人きてん トラック	¥50,000
114	A	保土ヶ谷区視覚障害者福祉協会	¥50,000
115	A	NPO法人ふれんど45 サンハイツ狩場	¥50,000
116	A	一般社団法人 地域活動支援センター作業所型 第2はなかご	¥50,000
117	A	一般社団法人 はなかご 第1はなかご	¥50,000
小計			¥250,000

3) 視覚・聴覚障害者支援

118	A	さくらの会	¥50,000
119	A	手話サークル もみじ会	¥50,000
120	A	保土ヶ谷録音グループ 「はし」	¥50,000
121	A	保土ヶ谷区点訳サークル 「虹」	¥50,000
122	A	手話サークル ほしの会	¥50,000
小計			¥250,000

Ⅲ福祉のまちづくり区分

123	A	ほどがや えかたり〜べ	¥40,000
124	A	ほどがやおもちゃ再生館	¥40,000
125	A	なるこ会	¥30,000
126	A	楽遊園	¥40,000
127	A	ボランティアグループ趣味の会	¥40,000
128	A	こりす	¥40,000
129	A	傾聴ボランティアグループ「あのね」	¥30,000
130	A	保土ヶ谷ファミリーハイツ 災害時あんしんボランティア	¥40,000
131	A	ママ音楽ユニット ♪ ショコラッティ	¥40,000
132	A	ハロースタンプ	¥40,000
133	A	保土ヶ谷区食生活等改善推進員会	¥40,000
134	A	リズム♪	¥40,000
135	A	きつつき仲間	¥40,000
136	A	サークル星の子	¥40,000
137	A	ちくちく	¥40,000
138	A	ブルーポケット	¥30,000
139	A	やまゆりの会	¥20,000
140	A	そこそこ手伝い隊	¥40,000
141	A	若葉会	¥40,000
142	B	NPO法人中途障害者地域活動センターほどがやカルガモの会	¥30,000
143	B	おれんじ・ドンキー	¥30,000
小計			¥770,000

Ⅳ健康増進区分

144	A	ひまわり体操くらぶ	¥10,000
145	A	じょうしん健康ウォーキング	¥10,000
小計			¥20,000